



石巻広域クラブ通信

<No.66>

THE Y'S MEN'S CLUBS OF GREATER ISHINOMAKI
CHARTERED MAY28, 2016

YMCA-ISHINOMAKI-CENTER
KyuEikoyochienchinai2-12-3,Okaidokita,
Ishinomaki, 986-0854,Japan

〒986-0854 石巻市大街道北 2-12-3
旧栄光幼稚園 2階 YMCA 石巻センター
電話 090-6252-7970(日野)090-2365-7940 (清水)

2022年2月号

E-mail : gishinomaki@gmail.com

E-mail: kochan-send.2@plum.plala.or.jp

== 2021-2022年度 主題 ==

クラブ会長 日野 峻「絆を深めて、共に喜びをもって活動しよう」
北東部部長 南澤一右(仙台青葉城)「続」変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！
東日本区理事 大久保知宏(宇都宮)「私たちは次の世代のために何ができるか？」
アジア太平洋地域会長 大野勉(神戸ポート)「100年を超えて変革しよう」
国際会長 キム・サンチェ(韓国)「世界とともにワイズメン」

<今月の聖句>

「時は満ち、神の国は近づいた。
悔い改めて福音を信じなさい」
(マルコ第1章：15節)

<強調月間> TOF/Step/Jeep (断食の時/ユース交換・交流事業)

2月第一例会プログラム

日時 2月25日(金) 18:30~20:30
場所 YMCA石巻センター(旧栄光幼稚園2階)
当番 田村誠明・小笠原均

司会 櫻井美智江

1. 開会点鐘 会長 日野 峻
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト・ビジター紹介
4. 会長あいさつ 会長 日野 峻
5. 聖句朗読・食前感謝 関川祐一郎
6. 食事・懇談 一同
7. ゲストスピーチ
スピーカー：仙台YMCA担当主事 齊藤勉 様
(1) 子ども達の成長を見守るYMCAのプログラム
(2) ピンクシャツデーのアピール
8. 諸報告とアピール 各担当
9. ハッピーバースデー 会長
2/11 姉齒 一紀さん 2/15 日野 峻さん
2/28 山田和佳子さん
10. ニコニコ 会計 櫻井美智江
11. 閉会あいさつと点鐘 会長 日野 峻
12. アピール写真撮影 全員

アフガニスタンの子どもたちの事に なっている 日本のランドセル

「思い出のランドセルギフト」プロジェクト
実行委員長 城井 廣邦(東京むかでクラブ)



アフガニスタンにランドセルを届けるボランティア活動を知ったのは、昨年3月東京むかででの本例会に櫻井啓子メネットが卓話されたときでした。

公益財団法人ジョイセフの「思い出のランドセルギフト」のプロジェクトの説明がきっかけになり、ワイズが中心になって推進したいと考えました。ジョイセフではすでに17年間24万個以上のランドセルをアフガニスタンに送っています。信頼できる体制があることを確認した上で、友人、知人、ワイズの仲間たちに話したところ、反応は上々でした。使われなくなったランドセルをアフガニスタンの子どもたちに届けることが、どれだけ多くの子どもたちの夢づくりにつながっているかを話す多くの方から共感を受けることができました。

本プロジェクトにはその理念があり、子どもたちの夢を育む理念があると確信しています。

<次ページにつづく>

1月データ/2月内容(思い出のランドセルギフト、3.11追悼と感謝の会など)

例会出席	23名	在籍会員数	22名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	9名	月間出席者	10名	スマイル	5,665円	56,354円
ビジター	11名	メーキャップ	1名	ファンド	89,002円	89,002円
ゲスト	1名	月間出席率	45%	BF	0円	0円

会長 日野 峻
副会長 青木 満里恵
" 石川 光晴
書記 清水 弘一
会計 櫻井 美智江
直前会長 大林 健太郎
担当主事 斎藤 勉

●本例会：毎月 第4金曜日(18:30~20:30) ●第2例会(役員会) 第2金曜日

<前ページよりつづく>

アフガニスタンの子どもたちは木陰にビニールを敷いて授業しています。学校に行ける女の子は 60%、卒業できる女の子は 40%と聞いています。

アフガニスタンへ届けた時の現地での様子や子どもたちが喜ぶ様子を日本での報告会を通して伝えています。日本の子どもたちに多くの感動を生んでいます。

そして、神戸ポート、石巻広域ワイズメンズ、東京むかでの3クラブDBCによる「思い出のランドセルギフト」プロジェクトが動き出しました。事務局は東北ヘルプの協力をいただきました。

セブンイレブンアメリカから1万ドルの寄付をいただき、アフガニスタンに送る海外輸送費に充てる事が出来ます。東京YMCA、神戸YMCA、仙台YMCAの後援の承認もいただきました。全国優良石材店からの新品ランドセル100個、石巻NPOからの110個を川上先生がトラックで横浜のジョイセフ倉庫へ3月14日搬入する予定です。

夢を届けるプロジェクトを本格的にスタートさせる思いは大きく膨らんでいます。

石巻広域ワイズメンズクラブの皆様、本当にありがとうございます。(城井記)



アフガニスタンには横浜港から船で運ばれます



日本から届いたランドセルを子ども達へ



野外で勉強するアフガニスタンの子ども達

1月第一例会報告(合同)

日時 2022年1月28日(金) 18:00~20:00
場所 YMCA 石巻センター
出席者 青木満里恵、大林健太郎、川上直哉、斎藤勉
櫻井美智江、清水弘一、関川祐一郎(Z)
千葉直美、日野峻
横浜つづきクラブの皆さんはオンラインで出席12名、ゲスト:南澤北東部部長(Z)、長沼利枝さん(3.11こども文庫の会)

1. 開会点鐘 日野会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト・ビジター紹介 清水書記
4. 会長あいさつ 石巻広域クラブ 日野 峻
横浜つづきクラブ 辻 剛
5. 両クラブメンバー紹介 司会
6. 特別プログラム(東日本大震災報告)
(1) まもなく復興11年の今 1 清水弘一
(2) " 2 川上直哉
7. 合同プログラム終了のあいさつ 会長 日野 峻
横浜つづきクラブ 会長 辻 剛
8. 聖句朗読・食前感謝 関川祐一郎
9. 食事・懇談 一同
10. 諸報告とアピール 各担当
11. ハッピーバースデー 日野会長
1/2 平井順子さん 1/3 林成江さん 1/12 木村千賀子さん
1/21 千葉寿恵さん 1/26 石川優子さん 1/28 櫻井宏之さん
12. ニコニコと献金報告 会計 櫻井美智江
ニコニコ5,665円、横浜つづきクラブより東北ヘルプへ献金15,000円
13. 閉会あいさつと点鐘 会長 日野 峻

2022年1月28日に、例会が行われました。この日の例会は、横浜つづきクラブとの合同例会でした。震災以来何度も被災地に訪れ、そしてボランティア活動を展開して下さったつづきクラブから、被災地の話をしてほしいと清水さんに相談があり、それであれば「合同例会」をオンラインで持ちましよう、企画がまとまったことでした。

この企画に向けて、二つの方面で準備が進められました。一つはオンラインの手配、もう一つは「今の被災地」を私たちがどうお伝えするか準備、です。

1月14日に、清水さんと私は久しぶりに大川小学校に行きました。「大川震災伝承館」が新しくできて、半年が経った頃でした。震災前の長面から追波川下流域を大切に記録し継承しようとする思いが、展示の中にはっきりと見て取れました。大切な学びをさせていただいたと、感謝を覚えました。(次頁へ)

2022年2月拡大役員会報告

日 時 2022年2月10日(木) 18:00~20:00
 場 所 YMCA 石巻センター
 出席者 日野峻、大林健太郎、川上直哉、清水弘一
 青木満里恵 (MC)、石川光晴 (MC)

<第一部: 2022-2023 年度会長・役員選考委員会>

①2月拡大役員会に次の通り答申する。

会 長: 青木満里恵

副会長: 石川光晴・姉齒一紀

書 記: 清水弘一 副書記: 川上直哉

会 計: 櫻井美智江 副会計: 千葉直美

直前会長: 日野峻

担当主事: 斎藤勉

ドライバー: 川上直哉・関川祐一郎・田村誠明

②各事業委員長については、青木次期会長のもとで選考する。

<第二部: 2月拡大役員会>

1. 開会点鐘 日野会長
2. ワイズソング 一同
3. 会長あいさつ 日野会長
4. 軽食
5. 報告事項

(1) 横浜つづきクラブとの1月合同例会報告

日 時 2022年1月28日(金) 18:00~20:00 (横浜つづきクラブとはオンライン)

場 所 石巻センター

プログラム 東日本大震災報告 「まもなく復興 11年のいま」 清水、川上

出席者 1月例会報告の通り

(2) 思い出のランドセルの発送作業について

・1月31日~2月1日に予定されていた公益財団法人ジョイセフ横浜倉庫への運搬については、新型コロナ感染拡大につき急遽延期することになった。

・実施時期については感染状況をみながら実行することとする。

(3) ジョイセフ主催「思い出のランドセル」のオンライン報告会

日 時 2022年2月6日(日) 17:30~18:30

場 所 オンライン方式

参加者 ワイズ実行委員会: 川上、清水、大野、朝倉
 ジョイセフ: 中村亮子、佐藤幸子、櫻井啓子
 一般協力者約60名

(4) 思い出のランドセルギフト実行委員会事務局会議(第2回)の報告

日 時 2022年1月30日(日) 16:30~18:00

場 所 オンライン(ホスト: 清水)

参加者 川上直哉、清水、大野、福島、城井

6. 協議事項

また、オンラインについては、事前に林茂博ワイズから丁寧な連絡を頂き、準備を進めることができました。ただ、残念なことに、当日の私のふとしたミスで、通信がダウンしてしまい、貴重な時間を Zoom の再起動に費やしてしまいました。「油断大敵」です。もうだいぶ慣れてきたので、やはり油断が生まれます。本当に「こなれる・熟練する」のは、これからなのだと思います。また、当日は石巻でも「オミクロン」の不安が広がってしまって、石巻からの参加者が少なかったことも、残念なことでした。横浜つづきクラブのみなさまの参加がとても手厚いものとなり、申し訳ないような思いを抱きました。

当日のスピーチは、清水さんがスライドを作ってください、また仙台YMCAの最新版の被災地紹介ビデオも放映でき、そして福島市の大島牧師(横浜YMCA理事)の活躍についても私からご紹介できましたことは、とても感謝なことでした。(川上記)



オンライン合同例会に参加された横浜つづきクラブの皆さん



日野会長あいさつ



社会長



左千葉さん、右長沼さん



誕生日のお祝い



石巻広域クラブの参加者

- (1) 2月第一例会について
 日時 2022年2月25日(金) 18:30~20:30
 場所 石巻センター
 内容 ゲストスピーチ 担当主事 斎藤勉さん
 ①子ども達の成長を見守る YMCA のプログラム
 ②ピンクシャツデーのアピール

- (2) 3.11 追悼と感謝の集いと 3月拡大役員会の開催について

日時 2022年3月11日(金) 13:00~15:15
 追悼と感謝の会 13:00~14:15 記念礼拝 14:30~15:15
 場所 YMCA 石巻センター (旧栄光幼稚園)
 主催 石巻広域ワイズメンズクラブ
 協力 公益財団法人仙台 YMCA、4ワイズメンズ連絡会議、国内兄弟クラブ (神戸ポートクラブ・東京むかでクラブ)
 後援 一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区、北東部
 プログラム 別紙案参照
 その他 「3.11 追悼と感謝の集い」終了後に3月拡大役員会を開催する

- (3) 3.11 被災地バスツアーの企画について

- ① キリシタンツアー案 2021 (改訂3)
 ② 福島ツアー案 2022

- (4) 後期会費と各種献金納付について

- ① 後期会費 (担当主事含む 22名分) 159,500円
 ② 各種献金 昨年度 62,500円 (18名分)
 今年度 77,000円 (22名分)

- (5) 2022 - 2023 年度クラブ会長・役員選任について
 会長、副会長、書記、会計、直前会長、担当主事、ドライバー (新設) の選任について、選考委員会の答申を承認した。

- (6) 東日本区主催ワイズ・ナイトフォーラムの開催協力要請について

日時 2022年4月16日(土) 19時~20時
 場所 オンライン会議
 内容 第一部 卓話:江夏一彰 (東京武蔵野多摩クラブ)、第二部 パネルディスカッション (北東部より4名位選出)

テーマ: 東日本大震災から11年とCS活動について

- (7) 神戸と石巻を繋ぐチャリティーコンサート(第3回)について

日時 2022年4月30日(土)
 場所 石巻センター 旧栄光幼稚園 2階ホール
 出演者 ①好文館高校吹奏楽部 (内託)
 ②石巻少年少女合唱団 (内託)
 ③「復興応援詩」の歌

- (8) 2022年3月第一例会の開催について

日時 2022年3月25日(金) 18:30~20:00
 場所 石巻センター
 内容 ゲストスピーカーに①カリタス南三陸の千

葉道生氏、並びに木村孝禅ワイズに依頼する
 ②NPO 法人ひたか水の里新井高広代表に依頼

- (9) その他

- ①新入会員の勧誘について
 ②次年度に向けて

7. 閉会あいさつと点鐘

日野会長

会員近況あれこれ



石巻広域クラブ
 監事 石田 信正

コロナ禍の時代に突入した2年間、ほぼ時を同じくして私は自動車運転免許証を返納しました。またそのあとには石巻広域クラブの根城 (YMCA 石巻センター) が立町から旧栄光幼稚園に移ってしまったことで、渡波住まいの私にとってクラブは、すっかり遠い存在になり、毎月届くブリテンで当月の会員数・出席数を目にするたびに、会員数に対しては貢献しているものの、出席率では足を引っ張り、肩身が狭い思いしております。

そんななか、私は昨年米寿を迎えることができましたが、一方では私をクラブに誘ってくれた中・高校での同期生、金原 譲氏 (仙台青葉城クラブ) が一言の断りもなく?米寿を目前にして亡くなってしまいました。

私は終活の一つとして、終末期に備え日本尊厳死協会の会員になっておりますが、天災・人災も多発している時代、明日の我が身は?。この際、終末期までのもろもろの事象に対して、退きざま・退き時を考えてみようと思っております。

幸いノンフィクション作家・柳田邦男が、コロナ禍での志村けんさんの死を機に、「さよならのない別れ」を今春出版されるとのこと。私も是非そのなかからヒントを得、終活の結び?としよう、とおもっておりますので、もう少しのあいだサボリマンに対してご厚誼のほど、よろしく願いいたします。

北上川の川面と夕暮れ



3.11 追悼と感謝の集いプログラム

開催：3月11日（金）

時間：13時～15時15分

<第一部:13:00~14:15>

追悼と感謝の会

場 所 YMCA 石巻センター
司 会 清水 弘一
奏 楽 金指 崇

1. 開会点鐘 石巻広域クラブ会長 日野 峻
2. ワイズソング 「いぎ立て」 全 員
3. 主催者あいさつ 石巻広域クラブ会長 日野 峻
4. 来賓あいさつ

- (1) 一般社団法人ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
理事長 大久保知宏 様
- (2) 公益財団法人 仙台 YMCA 総主事 村井 伸夫 様

5. 記念プログラム

- (1) 「阪神淡路大震災から学ぶ、3.11のこれから」
パネラー：神戸ポートクラブ 大野勉、大野智恵、山田滋己、園田将人
ファシリテーター：石巻広域クラブ 副書記 川上直哉
- (2) 復興応援歌 「復興の道へ灯（ひ）を点（とも）す」の紹介

作詞・作曲 / 大林 友子
編 曲 / 金指 崇
歌 / 川上 直哉

6. 出席者の紹介（オンライン参加者も含む） 司会者
7. YMCA の歌 全 員
8. 閉会点鐘と挨拶 4 ワイズメンズクラブ連絡会議代表 様

<第二部:14:30~15:15>

記念礼拝

場 所 YMCA 石巻センター
司 式 大林 健太郎
奏 楽 金指 崇

1. 着席
2. 前奏
3. 招きのことばと祈り
4. 黙祷（地震発生時 14 時 46 分に合わせて）
5. 讃美歌 298 番 「やすかれわがこころよ」
6. 聖書朗読 ヘブライ人への手紙第 12 章 1~3 節
7. 讃美歌 187 番 「主よいのちのことばを」
8. メッセージ Be-1 教会 宣教師 高本エリック
題：「壁を壊す神様の愛」
9. 頌栄 541 番
10. 祝祷
11. 後奏



3.11 メモリアルプロジェクト

3.11 こども文庫

日づけ：3/12(土), 4/23(土)
時間：13:30～15:30
場所：YMCA石巻センター
(旧石巻栄光幼稚園2階ホール)
連絡先：090-1373-3652(川上)

**みんなで
リトミック!**

石丸由理先生と
楽しく楽しく
体を動かそう!

**「3.11」って、
なんだろう?**

絵本の
読み聞かせ

『3月11日』という
悲しい出来事。
そこから生まれた
大切な物語を
いっしょに
読みましょう。
参加費は無料です。

ピンクシャツデー

**YMCA
PINK
SHIRT
DAY**

YMCAピンクシャツデー

2022年 2月 23日(水)

社会全体がはじめに対して「自分ごと」として向き合うこと、
そして被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者にならないこと」が、
いじめられている人を救うことになる...と私たちは考えます。
一人ひとりが「自分ではない誰かのために」行動しませんか。
YMCAはそのようなポジティブで前向きな「よくなる」の連鎖を大切にします。

ピンク色のシャツは、いじめ反対運動のシンボル
2007年、カナダの学生2人から始まったいじめ反対運動です。ある日、ピンクのポロシャツを着て登校した
少年が「オマセグランド」といじめられました。それを助けた先輩が50枚のピンクシャツを譲り、イン
ターネットで「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけました。翌日学校では呼びかけに賛
同した数百名の生徒がピンクのシャツや小物を身につけて登校。学校中がピンク色に染まり、いじめが自然
となくなったそうです。このエピソードはSNS等で世界中に広まり、今では70か国以上でいじめに反対する
活動が行われています。カナダで最初にこの出来事があった日が、2月の最終水曜日でした。それ以降、2月
の最終水曜日に私たちもいじめについて考え、いじめられている人とつながる思いを表す1日としています。

☎️ #YMCAPINK 📺

YMCAでは全国で約4万人が賛同し、アクションを起こしました。
日々の活動においても、その思いを伝えています。

YMCAピンクシャツデー

ウェブサイト: <https://www.ymcajapan.org/campaign/pinkshirtsday/>

「3.11 センサー・虫の知らせ」

会長 日野 峻

金子みすゞの詩『私と小鳥と鈴と』に「みんなちがって、みんないい」、『星とたんぽぽ』に「見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。」というフレーズがあります。このことの意味合いを、【センサー(感知、察知)】の視点から少し考察してみたいと思います。

これまで出逢われた方の中で、何かしかに関して嗅覚が鋭い、鼻が利くと感じられた人はいませんでしたか。何となくのレベルの人から名人級のレベル、超能力かと思われる人までいますよね。例えば、危険、危機を察知するセンサー「危機察知能力」を持ち合わせている人や商売の神様「仙台四郎」のように繁盛する店を当てる人、知らない土地でも美味しい店や楽しく魅力的なところを探すことの得意な人などいますよね。人それぞれが程度の差はあるものの、それなりにセンサーを持ち合わせて生きています。小さな子どもは、親や大人の気持ちを察知する能力を持っています。

東日本大震災から間もなく 11 年になろうとしています。あの 3.11 の数日前に、「先生、あのね。変なことがないといいんだけど・・・」と誰にも聞かれないように私の耳元で小さな声で話してくれた小学校 2 年生の男の子。「どうしたの?」「アリたちがいつもより忙しそうに動いていて、巣の穴にみんな入って行って、入口を土でふさいだの。変だよねって思ったから。」「何か変だね、何かあるのかな。教えてくれてありがとう。」「だって先生は前に朝会で、虫や鳥は人間が感じないことを感じたり、気づかないことに気づいたりする力を持っているから、すごいんだよ。観察してみると面白い発見があるよ。と話してたから、友達といろいろ見てました。そうしたら、いつもとちがう様子があったから、おかしいな、何かあるのかなと思ったんです。」「そうでしたか。アリさんたちは、やっぱり変な感じがするのかな。ほかの虫や鳥もどうなのかな。先生も観察してみるね。」恐るべし、その予感は的中したのです。

「虫の知らせ」は無視してはいけませんね。小さな子どもの感性、センサーは大事にしないと ♡ 「見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。」(了)



YMCA 報告

担当主事：齋藤 勉

1. サッカープログラム中止
 - ・2 月実施予定のサッカープログラムですが、コロナ感染拡大により、2 月は全てのサッカープログラムが中止となりました。
2. 春プロ受付開始
 - ・春休みのプログラム参加者受付が 2 月 16 日 (水)からはじまりました。コロナ禍の状況にもよりますが、春プロが開催され、多くの子どもたちが YMCA に募ってくれる事を願っています。
3. 東京 YMCA 中里さんからの依頼
 - ・今年も間もなく 3 月 11 日を迎えるにあたり、風化させることなく憶える時を持てればと考えているそうです。
 - ・それに伴い、東京 YMCA では、東日本大震災の募金を継続して行っているそうです。毎年一定額が集まるそうで、この募金を使って何かご支援できることがないかお知らせくださいとのことでした。
 - ・礼拝の時を持つようであればオンラインで、東京 Y の会員や職員と一緒に参加させてもらえないか、などご相談がありました。
 - ・東京の各部署で物産展をしたいと言うことで現在、清水さんと東京 Y の中里さんと連絡を取っています。

■ 今後のクラブスケジュール (2~4月)

2 月第一例会	2 月 25 日(金)	石巻センター
第 4 回ワイズ・ナイトフォーラム (東日本区主催)	2 月 26 日(土)	ZOOM 開催に参加
3.11 こども文庫事前練習	3 月 8 日(火)	石巻センター
3.11 支援活動報告 (村井、川上、清水)	3 月 8 日(火)	大阪 YMCA/大阪ワイズ合同例会
神戸ポート大野 AP 視察	3 月 10 日 (水)	気仙沼～南三陸
3.11 追悼の会と記念礼拝	3 月 11 日(金)	石巻センタ 13 時～
クラブ 3 月拡大役員会	3 月 11 日(金)	〃 16:00~17:00
3.11 こども文庫	3 月 12 日(土)	〃 13:30~
ランドセル横浜へ発送	3 月 13 日(日)	〃～山形～横浜
3 月第一例会	3 月 25 日(金)	石巻センター
東北・被災地ツアー (主催：東北ヘルプ)	3 月 31 日(木) ～4 月 1 日(金)	志津川～石巻
クラブ 4 月拡大役員会	4 月 8 日(金)	石巻センター



Y's Men International

Japan East Region 2021-2022 理事通信

主題 “Think for the next generation.” 「私たちは次の世代のために何ができるか？」
スローガン “We are stronger together than we are alone.” 「絆を深める時」

理事メッセージ

2021年-2022年東日本区理事
大久保知宏（宇都宮）



2022年を迎えて1か月を過ぎましたが、年明けからの新型コロナウイルス感染症オミクロン株の猛威に翻弄された日々を過ごしています。私は会社で感染症対策の本部長をしていますが、第5波までとは違う様相を示していて、毎日、社員本人の感染、社員家族の感染、社員の子どもの学校の休校などが発生していて、従来の丁寧な対策が間に合わなくて、検査もなしに在宅勤務といった対応状況になっています。こうしたことが全国で同時発生しているのだらうと思えます。クラブの状況でも今号では今年度の下期半年報を掲載していますが、上期半年報と比較して2名減少という厳しい結果となっています。区では9月から100日間の会員増強キャンペーンを行いました。「対面」という機会が少ない状況で、それぞれのクラブの努力に対して、結果が伴っていないと考えています。こうした状況においても、各クラブにとって会員増強の機会を作っていくのが、区としての役割と考え、Change!2022推進委員会の企画でワイズ・ナイト・フォーラムを2月、4月、6月の3回実施することになりました。クラブ全体で会員候補について話し合っていて、フォーラムに誘うという動きをお願いいたします。

今号には、深尾地域奉仕・YMCA サービス事業主任におまとめいただいた昨年9月～12月の各クラブの奉仕活動の報告を掲載しています。その概要をアジア太平洋地域に報告しています。上述したような状況ではありますが、工夫と努力によって従来とは違う形でありながら、各クラブが奉仕活動をされていることが分かる資料となっています。会員増強はクラブが活性化し、魅力あるものになっていくことが一番です。新型コロナの波を上手に受け流しながら、楽しいクラブを作っていただきたいと切に願います。

2月は各種献金の振り込み期限となっています。衣笠書記の文書でお知らせしていますので、各クラブとも目標達成を目指していただきますようお願いいたします。区としては皆様からいただいた献金がどのように使われているのか、引き続き情報発信していきます。よろしくをお願いいたします。

最後に、今号の最後にアジア太平洋地域のプロジェクトの前号でお知らせした Food History 募集にご応募いただいたものを掲載しています。2月末まで募集期間が伸びましたので、ご応募ください。